

第17節 設置単位・用途変更

問1 床面積の算定方法は建築基準法に基づくのか。

答1 屋上部分、駅舎、機械式駐車場及び機械式駐輪場を除きそのとおり。また、機械式駐車場及び機械式駐輪場の床面積は床そのものの面積（水平投影面積）とする。

問2 メッシュ状の床が2層ある駐車場（工作物に該当）層を階として規制してよいか。

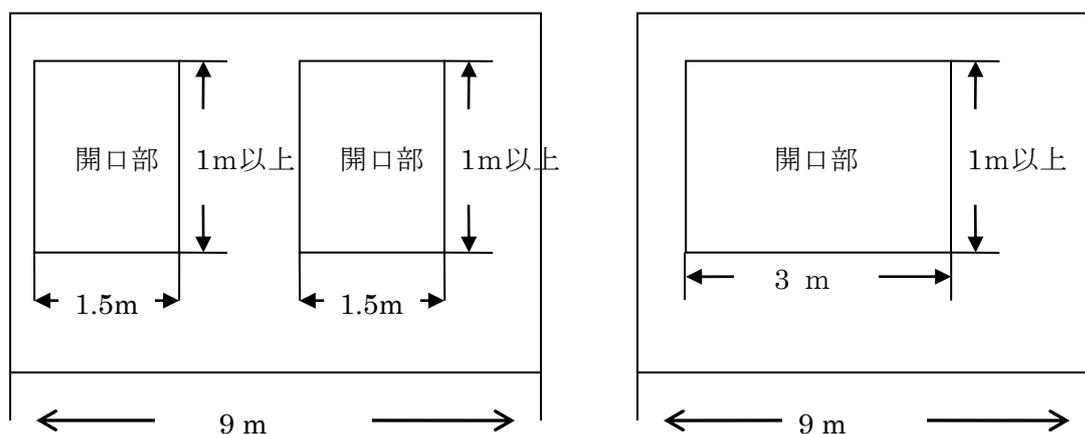
答2 支障なし。（1階、2階及び屋上として設備規制する。）

問3 機械式駐車場の床面積の取扱いについて。

答3 確認申請時の機械式駐車場部分の床面積は、 $15\text{ m}^2 \times$ 台数分の面積で算定されているため、同意時には $15\text{ m}^2 \times$ 台数分の面積を除き当該機械式駐車場部分の水平投影面積を当該面積とすること。

なお、機械式駐輪場の $1.2\text{ m}^2 \times$ 台数分も同様とする。

問4 「消防用設備等の設置単位について」（昭和50年3月5日消防安第26号通知）第2、1、(3)、ウ、(イ)、C、aの運用について下図のとおりでよいか。また、自然開口部は基準に適合していれば2か所以上設けてもよいか。



答4 支障なし

問5 渡り廊下の相互距離を下図のA部分として運用してよいか。

図1

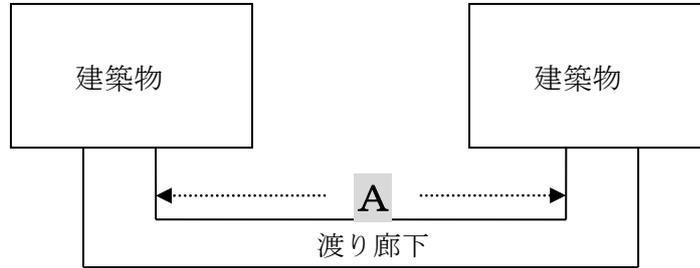


図2

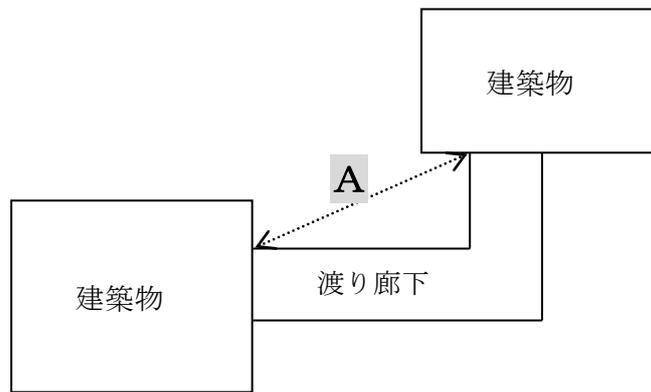
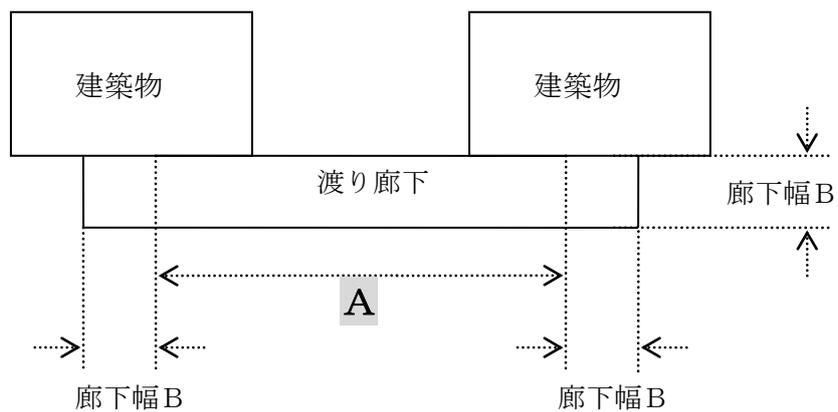


図3



答5 図1、図2は支障なし。

図3は建築物の外壁の構造及び開口部の設置状況等により、個別判断とする。

